

第 55 回高齢者排泄ケア講習会

アンケート集計結果

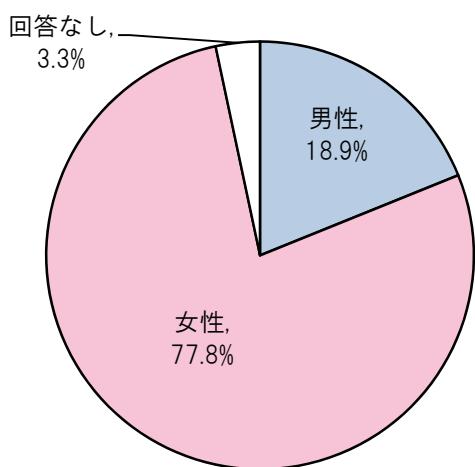
* H30.6.2 (土) 実施

会場： JR 博多シティ

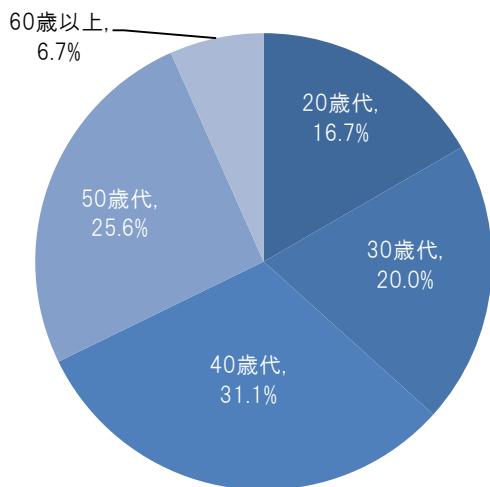
講習会参加者 103 名／アンケート回答者 90 名（回答率 87.4%）

■ あなたご自身についてお伺いします

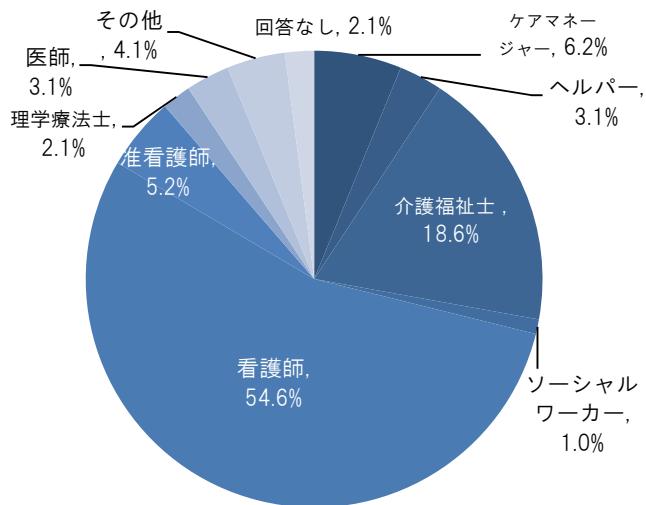
1】性別



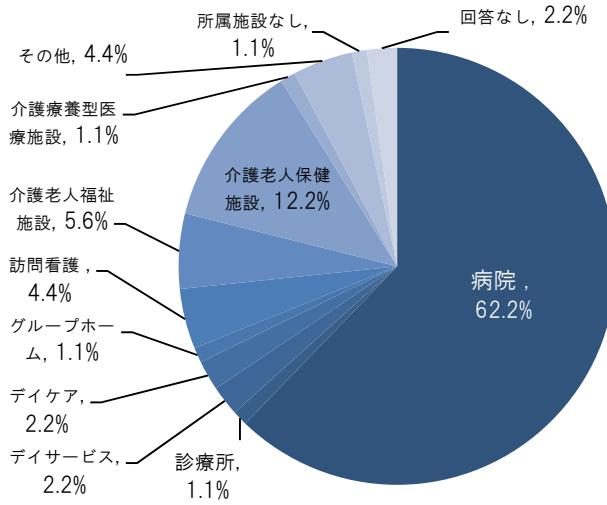
2】年齢



3】職種

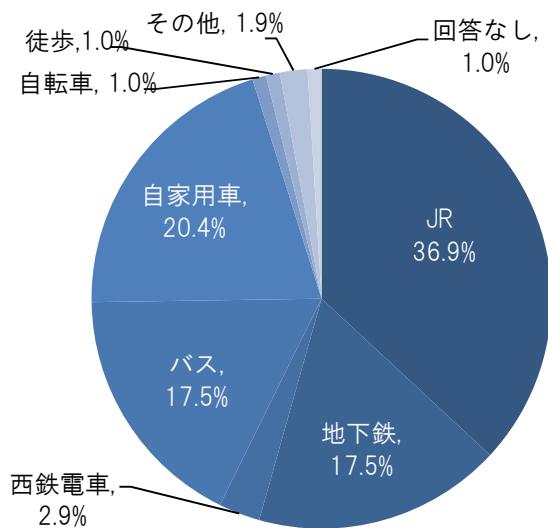


4】所属施設

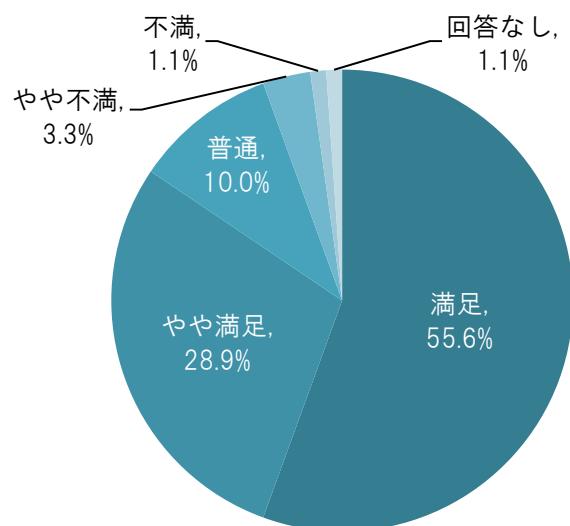


■ 高齢者排泄ケア講習会についてお伺いします

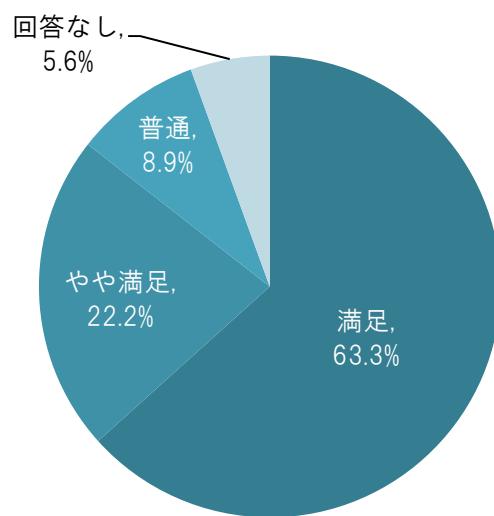
1】ご来場の際に利用された交通機関



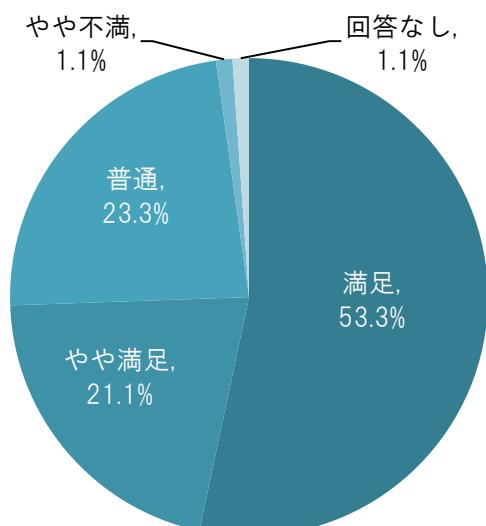
2-1】本日の講習会の内容について
『医療福祉在宅において実践できる排尿ケアと排尿訓練』



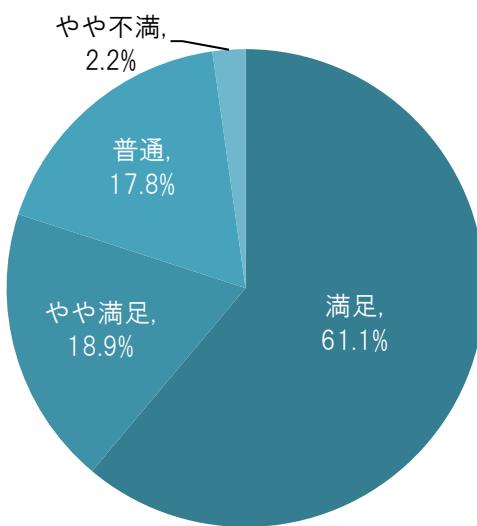
2-2】本日の講習会の内容について
『知れば納得！高齢者における排尿障害の治療について』



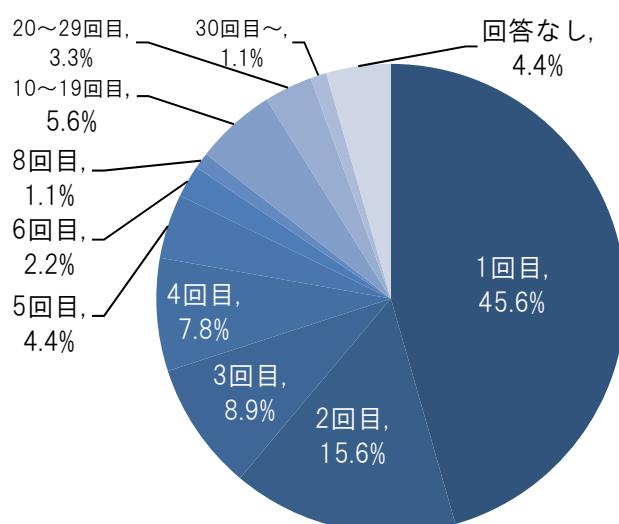
3】本日の講演時間について



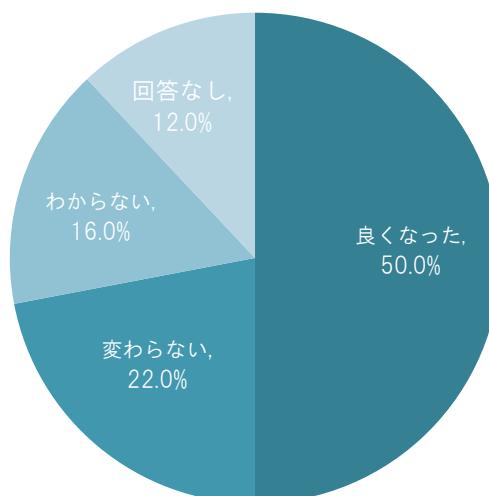
4】本日の会場について



5】今回でこの講習会は何回目のご参加ですか？



6】複数回参加されている方にお尋ねします。
この講習会に参加することで、あなたが所属している施設の排泄管理の状況はよくなりましたか？



6】 皆さんにお尋ねします。排泄管理の状況の改善についてなにかご意見がございましたら、ご記入ください。

- ・ 排泄訓練（膀胱訓練など）がリハビリテーション病院だと専門的に行いにくい。なので頻尿を正しく改善させていく事が難しいし、本人や家族にも上手に理解させていくのが難しい。
- ・ 松尾先生のお話からすると、80代 90代の合併症（CUA、DM、HD...）を持つ認知症患者の多い病棟（療養病棟）では排泄自立を目指して取り組むのはとても難しいんだなと感じました。
- ・ CST 委員会があるが、委員メンバー以外のスタッフに排泄ケアについて積極的に取り組んでもらうのが難しい。なかなか浸透していかない。
- ・ 薬に頼らない排泄を目指します

7】 今後、講習会で取り上げてほしいテーマやご要望など、ご意見がございましたらご記入ください。

- ・ 会場が少し寒かったです
- ・ 2演題目について：ほしい資料がない、講習の流れが早い、資料が分かりにくかった
- ・ 施設等に越し頂いて講習会をしてほしい。自分だけためになることを聞くのはもったいなくセミナー等が？？ほしい
- ・ 排泄チームの取り組み方、事例を含めて
- ・ 排泄自立支援チームの立ちあげについて
- ・ 夜間頻尿の対策
- ・ 高齢者寝たきりの患者様、認知症の患者様の排泄障害へのケア
- ・ 認知症と排泄ケアについて
- ・ 内服薬について作用などの説明、使用効果について
- ・ 薬剤による排泄障害
- ・ 便秘と内服薬について
- ・ 排便困難を改善する方法
- ・ おむつ、パットの選び方、種類や基準等
- ・ 食事（経管栄養）による排泄ケア